

有価証券報告書の訂正報告書

(第 86 期) 自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日

株式会社ダイドーリミテッド

E00550

第86期（自平成20年4月1日 至平成21年3月31日）

有価証券報告書の訂正報告書

- 1 本書は金融商品取引法第24条第1項に基づく有価証券報告書の訂正報告書を、同法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の有価証券報告書の訂正報告書と併せて提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

株式会社ダイドーリミテッド

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年9月11日

【事業年度】 第86期(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

【会社名】 株式会社ダイドーリミテッド

【英訳名】 DAIDOH LIMITED

【代表者の役職氏名】 取締役社長 安 江 恵

【本店の所在の場所】 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

【電話番号】 03(3257)5022

【事務連絡者氏名】 経営管理室長 福 羅 喜 代 志

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

【電話番号】 03(3257)5022

【事務連絡者氏名】 経営管理室長 福 羅 喜 代 志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月29日に提出いたしました第86期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

4 事業等のリスク

7 財政状態及び経営成績の分析

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

4 【事業等のリスク】

(訂正前)

(前略)

(財務制限条項)

当社は、平成17年5月18日付けで金融機関とのあいだでシンジケートローン契約を締結しており、当連結会計年度末（平成21年3月31日）における当該借入金残高は1,875百万円でありました。当連結会計年度末において、財務制限条項の一部（各年度の決算期及び中間期における連結の貸借対照表における資本の部の金額を前年同期比75%以上に維持すること。）に抵触いたしました。

当社グループは、期末における現金及び現金同等物残高を2,630百万円有しており、平成21年4月28日に売却いたしました投資有価証券の売却代金1,598百万円の入金を予定しております。さらに6月には流動資産の有価証券の償還1,000百万円があり、将来に対する資金予定には問題がないと考えております。

当社は、主幹事会社を通して多数の貸付人の金融機関に上記の財政状態・資金計画等を説明し、期限の利益喪失の権利を行使しない旨の同意を頂いております。

(訂正後)

(前略)

(財務制限条項)

当社は、平成17年5月18日付けで金融機関とのあいだでシンジケートローン契約を締結しており、当連結会計年度末（平成21年3月31日）における当該借入金残高は1,875百万円でありました。当連結会計年度末において、財務制限条項の一部（各年度の決算期及び中間期における連結の貸借対照表における資本の部の金額を前年同期比75%以上に維持すること。）に抵触いたしました。

7 【財政状態及び経営成績の分析】

(訂正前)

(前略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、配当金の支払い2,824百万円、銀行借入金の返済2,918百万円および自己株式買付による支出1,000百万円があり、短期借入金の調達500百万円を行いました。財務活動のキャッシュ・フローは、6,239百万円の支出超過となりました。

(訂正後)

(前略)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、配当金の支払い2,824百万円、銀行借入金の返済2,918百万円および自己株式買付による支出1,000百万円があり、短期借入金の調達500百万円を行いました。財務活動のキャッシュ・フローは、6,239百万円の支出超過となりました。

(財務制限条項抵触に関する対処)

当社グループは、期末における現金及び現金同等物残高を2,630百万円有しており、平成21年4月28日に売却いたしました投資有価証券の売却代金1,598百万円の入金を予定しております。さらに6月には流動資産の有価証券の償還1,000百万円があり、将来に対する資金予定には問題がないと考えております。

当社は、主幹事会社を通して多数の貸付人の金融機関に上記の財政状態・資金計画等を説明し、期限の利益喪失の権利を行使しない旨の同意を頂いております。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の2第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年9月11日
【会社名】	株式会社ダイドーリミテッド
【英訳名】	DAIDOH LIMITED
【代表者の役職氏名】	取締役社長 安 江 惠
【最高財務責任者の役職氏名】	—
【本店の所在の場所】	東京都千代田区外神田三丁目1番16号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 安江 恵 は、当社の第86期(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)の有価証券報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。